

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		8 東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前	部課名	福祉部高齢福祉課	
選定方法		<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
			指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地]	台東区蔵前2-11-7
(2)	[規模]	延べ床面積 3,937.96㎡のうち3,363.41㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階 相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般）など
(3)	[委託事業]	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助〔食事、介護（排泄・入浴援助）〕、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。
(3)	[自主事業]	空床利用ショートステイ
(4)	[利用者]	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間]	通年、24時間
(6)	[人員体制]	34名 (内 訳) 施設長(1) 事務員(1) 相談員(1) 介護職員(常勤20 非常勤3) 看護職員(常勤3) 介護支援専門員(1) 栄養士(1) 機能訓練指導員(非常勤2) (前年増減) 介護職員(常勤+1) 看護職員(常勤+1)

2. 予算決算

		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料（指定管理料）	61,467,000	61,467,000	61,467,000	61,467,000
	利用料金収入	219,459,000	230,778,629	221,182,000	229,371,964
	その他収入（施設整備等積立資産取崩収入等）	1,761,000	1,622,387	1,627,000	9,212,806
	計	282,687,000	293,868,016	284,276,000	300,051,770
支出	人件費	191,136,000	183,839,886	182,800,000	184,848,837
	光熱水費	22,356,000	20,474,808	22,356,000	21,708,257
	維持管理費（委託料・賃借料）	35,307,000	37,486,886	35,307,000	36,428,875
	修繕費	2,000,000	4,027,265	2,000,000	1,909,006
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（施設整備等積立資産支出等）	31,888,000	73,254,362	41,813,000	74,960,199
計		282,687,000	319,083,207	284,276,000	319,855,174
収支			-25,215,191		-19,803,404

3. 活動指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
入所定員	人	50	50	50	50

4. 成果指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	95.9	94.9	94.6	95.4
利用者数	人	17,500	17,329	17,258	17,411

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

--	--	--	--	--	--

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を順守し、区への報告書等も適切に期限内に提出している。防災委員会・防災訓練を毎月実施し、浅草消防署『自衛消防コンクール』に参加するなど危機管理対応に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	法令に基づく「配置基準」以上の人員・有資格者を配置している。新規入所者の獲得のため、積極的に事前面接や施設見学を実施し、空床型ショートステイの活用と併せて、空床期間の短縮に取り組み、全体の利用率が向上した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施し、衛生管理を適切に行った。30年度は光熱水費の経費が増となったことから、より一層の省エネに対する取り組みも必要である。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	受付に「御意見・苦情箱」を設置し、幅広い意見を集約した上で、年に1度、第三者委員の参加による「会議」を実施するなど、利用者の意向に沿ったサービス向上を図った。空床型ショートステイにより家族のレスパイトに努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	昨年より入所率は増加しており、利用料金収入も安定して推移している。収支においてマイナスが生じているが、施設を安定的に運営するための積立等によるものであり、全体的には適正な予算執行が行われている。
(6) 優れた取り組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (98 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>事業計画や収支予算に基づき、適切に事業が執行されている。配置基準以上の人員・有資格者を配置し、充実したサービスを提供している。新規入所者獲得のための施設見学実施、空床型ショートステイの活用など、利用率向上に努めている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>収支の状況は昨年度より改善されているものの、光熱水費等の経費が増大している。省エネ等の対策を見直し、より一層の効率的運営を行うことが必要である。</p>